

## **機械・電気設備請負工事必携**

### **2 機械・電気設備工事施工管理基準**

#### **新旧対比表**

**(令和8年4月)**

頁	改訂前				改訂後					
	検査対象		規格値	摘要	検査対象		規格値	摘要		
4-11	工種	項目			項目	工種			項目	
	6) 性能試験	(1) 測定項目			6) 性能試験	(1) 測定項目				
		項目	判定基準等	摘要		項目	判定基準等	摘要		
		回転数	測定・確認	回転方向を確認		回転数	測定・確認	回転方向を確認		
		吐出し量	規定値 以上			吐出し量	規定値 以上			
		吐出し圧力	測定	全揚程を算定し規定値以上を確認。		吐出し圧力	測定	全揚程を算定し規定値以上を確認。		
		吸込圧力	測定			吸込圧力	測定			
		電圧	測定・確認	電動機駆動の場合		電圧	測定・確認	電動機駆動の場合		
		電流	測定・確認			電流	測定・確認			
		電力	測定・確認			電力	測定・確認			
		軸動力	規定値 以上	計算値より算出		軸動力	規定値 以上	計算値より算出		
		効率	規定値 以上			効率	規定値 以上			
		グランド部温度	異常のないことを確認 ※	一定時間間隔で計測		グランド部温度	異常のないことを確認 ※	一定時間間隔で計測		
		各部軸受温度	〃 ※		減速機共		各部軸受温度		〃 ※	
		油温	〃 ※				油温		〃 ※	
		油圧	〃 ※				油圧		〃 ※	
		各部の振動	〃	参考とする。		各部の振動	〃	参考とする。		
		各部の騒音	〃	参考とする。		各部の騒音	〃	参考とする。		
		メカニカルシールの水回収率	90%以上			メカニカルシールの水回収率	90%以上			
		①全揚程・吐出し量の判定基準は、JIS B 8301-2018 による。 ②H-Q性能測定は、締切点及び設計点を含み5点以上の異なった吐出量において測定する。 <del>流体継手付ポンプについては、規定の回転速度にて試験を行うほか、予想性能曲線にて示された各回転速度について計測する。</del> ③※印の各項が一定値に収束したことを確認した後、1時間程度継続して異常のないことを確認する。 ④騒音は JIS B 8310-2021 による。					①全揚程・吐出し量の判定基準は、JIS B 8301-2018 による。 ②H-Q性能測定は、締切点及び設計点を含み5点以上の異なった吐出量において測定する。 ③※印の各項が一定値に収束したことを確認した後、1時間程度継続して異常のないことを確認する。 ④騒音は JIS B 8310-2021 による。			
		(2) 軸受温度				(2) 軸受温度				
		軸受許容最高温度及び許容温度上昇(JIS B 8301-2018 による)					軸受許容最高温度及び許容温度上昇(JIS B 8301-2018 による)			
		許容温度上昇℃   K   (周囲温度 40℃以下の場合。ただし、許容温度を上回ってはならない。)		許容最高温度 °C		許容温度上昇℃   K   (周囲温度 40℃以下の場合。ただし、許容温度を上回ってはならない。)		許容最高温度 °C		
		冷却方式・潤滑油種類	軸受表面において	メタル温度計感温部の挿入測定	軸受表面において	メタル温度計感温部の挿入測定	軸受表面において	メタル温度計感温部の挿入測定		
		自然冷却式普通潤滑油	40	45	75	80	75	80		
		自然冷却式耐熱性潤滑油	55	60	90	95	90	95		
		水冷式	—	協定による	—	80	—	80		
		強制潤滑式普通潤滑油	—	—	75	80(排油温度 80)	75	80(排油温度 80)		